

3号様式の1

排出量削減計画書

| | | | | | | |
|---|--|--|-----------------|-----------------|-----------------|--------------------|
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更 | | | | |
| (宛先) 京都府知事 | | 令和 6年 9月 18日 | | | | |
| 住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市右京区太秦和泉式部町16-11 | | 氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 山下工業 株式会社 代表取締役 山下 達教 電話 075 - 862 - 2562 | | | | |
| 主たる業種 | 土木・コンクリート工事業 | 細分類番号 | 0 7 7 2 | | | |
| 事業者の区分 | 主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択 | <input checked="" type="checkbox"/> 産業部門 <input type="checkbox"/> 業務部門 <input type="checkbox"/> 運輸部門 | | | | |
| 計画期間 | 令和6年4月 ～ 令和9年3月 | | | | | |
| 基本方針 | 社員に計画および目標を共有し、社員の省エネ意識を向上させることで、組織全体で計画達成を目指す。 | | | | | |
| 計画を推進するための体制 | 代表者が中心となり、目標達成に向け、計画の管理を行う。月次の請求書等で進捗を把握し、現場責任者、従業員と情報共有し意識を高めて目標達成に取り組んでいく。 | | | | | |
| 削減率 | | | | | | |
| 温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標 | 温室効果ガスの排出の量 | 基準年度 (R5) 年度 | 第1年度 (R6) 年度 | 第2年度 (R7) 年度 | 第3年度 (R8) 年度 | 3年平均増減率 (基準年度比) |
| | 事業活動に伴う排出の量 | 227.3 トン | 218.2 トン | 218.2 トン | 218.2 トン | -4.0 パーセント |
| | グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量 | | | | | |
| | 評価の対象となる排出の量 | 227.3 トン | 218.2 トン | 218.2 トン | 218.2 トン | -4.0 パーセント |
| | 年度ごとの増減率 (基準年度比) | | -4.0 % | -4.0 % | -4.0 % | |
| 目標の根拠 | 従業員の省エネ意識を向上させ、削減目標4%を達成する。 | | | | | |
| 具体的な取組及び措置の内容 | 1年目 | 社員の省エネ意識を向上させるとともに、エコドライブの励行を徹底する。 | | | | |
| | 2年目 | 省エネ効果の高い設備の導入や燃費効率の良い車両の採用などによる、エネルギー使用量の削減に努める。 | | | | |
| | 3年目 | 省エネ効果の高い設備の導入や燃費効率の良い車両の採用などによる、エネルギー使用量の削減に努める。 | | | | |
| 地球温暖化対策に資する社会貢献活動 | ・書類のペーパーレス化、節電・節水、事務所周辺の清掃活動等 | | | | | |
| 特記事項 | ・電気使用量の過去2年分のデータ抽出ができないため直近期 (令和5年度) を基準年度とします。 | | | | | |

- 注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法 (平成19年法律第53号) 第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。